



平成24年9月21日
海上保安庁

海上保安庁の薬物水際対策について

1 薬物事犯の摘発状況

区分		年別 20年	21年	22年	23年	24年 (注2)
摘発事案数 (注1)		21	13	10	7	3
押収量	覚醒剤	308.38 kg	136.96 kg	4.98 kg	10.8 kg	0
	大 麻	0.023 kg	0.008 kg	0.01 kg及び 11ml	0.2g	0.9g
	麻 薬	0.3g	0	10.8662kg	0	3.5kg
	あへん	0	0	0	0	0

(注1) 当庁が単独又は他機関と合同で摘発した事件の数 ((2) も同様) (注2) 平成24年7月31日現在 ((2) も同様)

2 主な薬物事犯

カンボジア籍貨物船「HAI XING 6」号乗組員等に係る覚醒剤密輸入事件

(岡山県岡山市)

平成23年11月11日、玉野海上保安部は、関係機関と連携して、岡山港に入港したカンボジア籍貨物船H号を監視中、同船乗組員2名が、内偵捜査対象の在日中国人と接触したことから、職務質問を行ったところ、覚醒剤3キログラムを所持していたことから3名を覚醒剤取締法違反で現行犯逮捕し、翌日、共犯者の在日中国人を通常逮捕した。



3 海上保安庁の対応

(1) 水際対策

- ① 巡視船艇・航空機による継続的な監視・警戒の徹底
- ② 薬物が積み出される可能性の高い地域を仕出とする船舶に対する立入検査・監視の徹底
- ③ 速力・捜索監視能力等の向上を図った巡視船艇・航空機の代替整備
- ④ 複数クルー化による「空き巡視艇ゼロ」の推進による巡視艇の効率的運用の徹底
- ⑤ 海事、漁業及び港湾関係者等に対する情報提供依頼等による情報収集の徹底
- ⑥ 中央・地方レベルでの情報交換、取締対策会議等の開催等による情報共有の強化
- ⑦ 関係機関との人事交流の推進
- ⑧ 関係機関との合同立入検査、合同取締等の強化

(2) 国際連携

- ① 北太平洋海上保安機関長官級会合(日、米、加、中、韓、露)等を通じた国際連携・協力の強化
- ② 周辺国に対する海上犯罪取締能力向上の支援